

CASBEE_Sapporo2014v1.0
医療法人愛全会 愛全病院整備計画

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音					3.0	0.15	2.7	1.00	2.9
1.2 遮音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能					3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	2.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境									
2.1 室温制御					3.8	0.35	3.0	1.00	3.6
1 室温					3.8	0.50	3.0	0.50	
2 外皮性能	W			断熱材:現場発泡ウレタンフォームt35使用	3.0	0.38	3.0	0.57	
3 ソーン別制御性				GHP利用により細かい制御が可能	5.0	0.25	3.0	0.43	
2.2 湿度制御				パッケージエアコンと加湿器の採用	4.0	0.38	-	-	
2.3 空調方式					5.0	0.20	3.0	0.20	
3 光・視環境									
3.1 昼光利用					2.7	0.25	3.0	1.00	2.7
1 昼光率					3.0	0.30	3.0	0.30	
2 方位別開口					3.0	0.60	3.0	0.60	
3 昼光利用設備	W				-	-	-	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 昼光制御	W				2.0	0.30	3.0	0.30	
3.3 照度					2.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御					3.0	0.15	3.0	0.15	
4 空気質環境									
4.1 発生源対策					4.5	0.25	3.0	1.00	4.1
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆の建材の積極的採用	5.0	0.50	3.0	0.63	
2 発塵対策					5.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気					3.5	0.30	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				建物中央に排気用にライトコートを設置	4.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					4.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				敷地内禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.40	4.6	1.00	4.1
1 広さ・収納性				患者の快適性に配慮し、病室の面積を確保	3.0	0.40	5.0	0.60	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観					4.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					4.0	-	-	-	
3 内装計画				ヨーロッパの内装計画を早い時期にも決めする	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理					4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				メンテナンスしやすい計画としている	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				メンテナンスしやすい計画としている	4.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震					3.0	0.30	-	-	3.0
1 耐震性					3.0	0.50	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					2.8	0.30	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W				2.0	0.20	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	W				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	W				3.0	0.10	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	W				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				非常用発電を活用し、信頼性を確保している	5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				無線技術を活用し、信頼性を確保している	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり					3.0	0.30	3.6	1.00	3.1
1 階高のゆとり					2.2	0.30	2.2	0.50	
2 空間の形状・自由さ				平面的なフレキシビリティを確保している。	1.0	0.60	1.0	0.60	
3 荷重のゆとり				病室部分にも荷重のゆとりを持たせている。	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 設備の更新性					3.0	0.30	5.0	0.50	
1 空調配管の更新性				構造躯体へ打込みしない計画	3.6	0.40	-	-	
2 給排水管の更新性				構造躯体へ打込みしない計画	4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					4.0	0.20	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.10	-	-	
6 バックアップスペースの確保				余裕のある屋上設備スペース	3.0	0.20	-	-	
					4.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.0
医療法人愛全会 愛全病院整備計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		基本設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
						Q3 室外環境(敷地内)				
1 生物環境の保全と創出			G		緑地を確保し、生物環境の保全を実施している。	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			G		札幌市の景観色を積極的に採用し、まちなみ、景観に配慮している。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮						4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				S	愛全ラウンジを地域に提供することを考えている。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		W			高断熱の壁構成とする	4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用		W				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.6	0.50	-	-	3.6
集合住宅以外の評価(3a,3b)		W			省エネルギー型機器の採用	3.6	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)		W				-	-	-	-	
4 効率的運用						3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価						3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		W			目標値を提案する	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水型設備機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						4.2	0.60	-	-	4.2
2.1 材料使用量の削減		W				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W			敷地内の既存棟を一部利用して増築する計画	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			ビニル系床材、パーティクルボード、木材・プラスチック再生複合床材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W			解体時には再利用しやすい計画としている。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					有害物質を含まない材料の積極的採用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		W				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		W				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		W				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮					省エネルギー機器の採用によりLCCO2を一定程度削減する	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮						3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		W				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		W	G	S		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		W			雨水貯留槽の設置を計画している	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		W				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					適正なエントランス計画	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		W		S	十分な広さの塵芥庫を設けている	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	